

令和2年度事務事業評価シート (評価対象年度 令和元年度)

●基本情報

事業名		一般介護予防事業			評価番号	2-2-5-1	
担当課		保健福祉センター	係	いきがい支援係	会計	【08】介護保険特別会計	
基本計画	基本方針	【2】いつまでも健康で元気あふれるまちづくり			予算科目	款	【0803】地域支援事業費
	基本施策	【2】支え合う福祉の推進				項	【080301】介護予防事業費
	施策	【5】地域福祉の充実				目	
	主な取組	①福祉を支える人材の育成				事業	一般介護予防事業

●計画 ~PLAN~

根拠法令等	<input type="radio"/> なし <input checked="" type="radio"/> あり	名称	介護保険法			
新規・継続	<input type="radio"/> 新規 <input checked="" type="radio"/> 継続	事業開始年度	平成	14	年度	<input type="checkbox"/> 事業開始年度不明
事業期間	<input type="radio"/> 期間限定あり事業終了年度：令和 年度) <input checked="" type="radio"/> 単年度繰り返し <input type="radio"/> 単年度のみ					
実施手法 (すべてチェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 町が直接実施(直営) <input type="checkbox"/> 委託( <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 一部委託) <input checked="" type="checkbox"/> 補助金等 <input type="checkbox"/> 町民協働 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 事務局 <input type="checkbox"/> その他( )					
実施形態	<input type="radio"/> 町単独 <input type="radio"/> 国・県補助事業 <input checked="" type="radio"/> 国・県補助事業+町事業(上乘せ) <input type="radio"/> その他( )					
事業概要	地域で介護予防のための体操を普及するボランティアの活動を支援します。 フリフリグッパータンニングを普及する利根フリフリクラブボランティアとシルバーリハビリ体操を普及する利根町リハビリ体操指導士の会の活動を支援し、介護予防の取組を推進します。					

●実施 ~DO~

事業業績	フリフリ地区運動集会、シルバーリハビリ体操教室を開催し、地域住民が気軽に参加できる体制ができており、介護予防・認知症予防に貢献しています。 フリフリ地区運動集会は、毎月6回(年間59回)実施し、延べ2,053人が参加。 シルバーリハビリ体操教室は、16会場で年間699回実施し、延べ11,950人が参加。				
事業費	区分	平成29年度(実績)	平成30年度(実績)	令和元年度(実績)	
	財源内訳	国支出金	229,537 円	307,428 円	290,753 円
		県支出金	143,461 円	192,143 円	181,721 円
		受益者負担金	円	円	円
		地方債	円	円	円
		その他	464,812 円	622,542 円	588,774 円
		一般財源	309,875 円	415,027 円	392,516 円
事業費計	1,147,685 円	1,537,140 円	1,453,764 円		

●評価 ～CHECK～

妥当性	①政策目的との整合性 事業目的が上位政策（主な取組）の達成に貢献していますか。	<input checked="" type="radio"/> 貢献している <input type="radio"/> 見直す余地がある 理由 多数の会場で気軽に参加できる体制を整えることで、多くの高齢者が参加しており、事業目的である介護予防・認知症予防に貢献しています。
	②町関与の妥当性 町が事業主体として事業を行うことが妥当ですか。	<input checked="" type="radio"/> 妥当である <input type="radio"/> 見直す余地がある 理由 町は、ボランティア組織の事務局として役割を果たしています。引続き、ボランティア組織を適切に支援し活動を継続することが重要であると考えます。
有効性	③成果の向上余地 事業内容を工夫することにより成果を向上させることができますか。	<input checked="" type="radio"/> 余地がない <input type="radio"/> 見直す余地がある 理由 活動を支えるボランティアの人数が増えることより、活動が拡大され介護予防の効果が上がることが期待できます。
	④廃止・休止の可能性 事業の内容や成果から廃止・休止できますか。	<input type="radio"/> 可能性がある <input checked="" type="radio"/> 可能性がない 理由 高齢化が進む中、ボランティアを中心とした介護予防活動は、事業目的を達成するために重要であることから、事業の廃止・休止の可能性はありません。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 類似事業との統廃合・連携を図ることにより成果が期待できますか。	<input type="radio"/> 可能性がある <input type="radio"/> 可能性がない <input checked="" type="radio"/> 類似事業はない 理由 他に類似事業はなく、統廃合・連携はできない事業であると考えます。
効率性	⑥事業費の削減余地 成果を下げずにコスト削減できますか。	<input checked="" type="radio"/> 余地がない <input type="radio"/> 余地がある 理由 ボランティア主体の事業であり、現在も低コストで実施しているため、これ以上のコスト削減の余地はありません。
公平性	⑦受益者負担の適正化 事業内容から受益者の負担割合は適正ですか。	<input type="radio"/> 適正である <input type="radio"/> 見直す余地がある <input checked="" type="radio"/> 受益者負担を求める事業ではない 理由

●改善 ～ACTION～

今後の方向性	継続（ <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> 改善 <input type="radio"/> 拡大） <input type="radio"/> 休止 <input type="radio"/> 廃止（終了） <input type="radio"/> 統廃合 <input type="radio"/> 連携
	【理由】 この活動を継続的に行うためには、活動の中心となるボランティアの存在が欠かせません。しかし、近年ではボランティア活動を希望する人が減少しているため、人材の確保が課題であると考えます。

令和2年度事務事業評価シート (評価対象年度 令和元年度)

●基本情報

事業名	一般介護予防事業費(通いの場事業)			評価番号	2-2-5-2	
担当課	福祉課	係	介護予防係	会計	【08】介護保険特別会計	
基本計画	基本方針	【2】いつまでも健康で元気あふれるまちづくり		予算科目	款	【0803】地域支援事業費
	基本施策	【2】支え合う福祉の推進			項	【080301】介護予防事業費
	施策	【5】地域福祉の充実			目	一般介護予防事業費
	主な取組	②社会福祉関係団体の育成			事業	一般介護予防事業費

●計画 ~PLAN~

根拠法令等	<input type="radio"/> なし <input checked="" type="radio"/> あり	名称	介護保険法		
新規・継続	<input type="radio"/> 新規 <input checked="" type="radio"/> 継続	事業開始年度	平成 29 年度	<input type="checkbox"/> 事業開始年度不明	
事業期間	<input type="radio"/> 期間限定あり事業終了年度：令和 年度) <input checked="" type="radio"/> 単年度繰り返し <input type="radio"/> 単年度のみ				
実施手法 (すべてチェック)	<input type="checkbox"/> 町が直接実施(直営) <input type="checkbox"/> 委託( <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 一部委託 ) <input checked="" type="checkbox"/> 補助金等 <input type="checkbox"/> 町民協働 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 事務局 <input type="checkbox"/> その他 ( )				
実施形態	<input type="radio"/> 町単独 <input checked="" type="radio"/> 国・県補助事業 <input type="radio"/> 国・県補助事業+町事業(上乘せ) <input type="radio"/> その他( )				
事業概要	地域の住民主体の通いの場において、茶話、体操、レクリエーション及び認知症予防等の介護予防活動を行う。				

●実施 ~DO~

事業業績	高齢者が身近なところで気軽に通える場が創出され、高齢者の社会的な孤立の解消、心身の健康維持及び要介護状態の予防並びに地域での助け合い体制の構築が図られている。				
	事業費	区分	平成29年度(実績)	平成30年度(実績)	令和元年度(実績)
事業費	財源内訳	国支出金	48,200 円	187,500 円	172,500 円
		県支出金	30,125 円	117,188 円	107,813 円
		受益者負担金	円	円	円
		地方債	円	円	円
		その他	97,605 円	379,688 円	349,313 円
		一般財源	65,070 円	253,125 円	232,875 円
事業費計		241,000 円	937,500 円	862,500 円	

●評価 ～CHECK～

妥当性	①政策目的との整合性 事業目的が上位政策（主な取組）の達成に貢献していますか。	<input checked="" type="radio"/> 貢献している <input type="radio"/> 見直す余地がある 理由 住民交流通いの場を運営する団体が増えており、その活動が地域に広がりを見せているため。
	②町関与の妥当性 町が事業主体として事業を行うことが妥当ですか。	<input checked="" type="radio"/> 妥当である <input type="radio"/> 見直す余地がある 理由 高齢化が急速に進んでいるため、地域における介護予防活動が介護給付費の抑制に寄与するため。
有効性	③成果の向上余地 事業内容を工夫することにより成果を向上させることができますか。	<input checked="" type="radio"/> 余地がない <input type="radio"/> 見直す余地がある 理由 高齢者数は増加しており、要介護認定者も増加しているため、更なる取り組みが必要である。
	④廃止・休止の可能性 事業の内容や成果から廃止・休止できますか。	<input type="radio"/> 可能性がある <input checked="" type="radio"/> 可能性がない 理由 高齢化が急速に進むことにより、今後、介護給付費などの増加が見込まれるため、介護予防支援は重要である。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 類似事業との統廃合・連携を図ることにより成果が期待できますか。	<input type="radio"/> 可能性がある <input type="radio"/> 可能性がない <input checked="" type="radio"/> 類似事業はない 理由
効率性	⑥事業費の削減余地 成果を下げずにコスト削減できますか。	<input checked="" type="radio"/> 余地がない <input type="radio"/> 余地がある 理由
公平性	⑦受益者負担の適正化 事業内容から受益者の負担割合は適正ですか。	<input type="radio"/> 適正である <input type="radio"/> 見直す余地がある <input checked="" type="radio"/> 受益者負担を求める事業ではない 理由

●改善 ～ACTION～

今後の方向性	継続    ( <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> 改善 <input type="radio"/> 拡大 ) <input type="radio"/> 休止 <input type="radio"/> 廃止(終了) <input type="radio"/> 統廃合 <input type="radio"/> 連携
	<b>【理由】</b> 高齢化により要介護支援認定者数は増加しており、身近な地域で実施される介護予防活動は必要不可欠であることから、住民交流通いの場の運営団体を今以上に増やす必要がある。